

延岡市立延岡中学校 学校経営方針(令和7年度)

【校訓】

(ひかり)光り輝く生徒であれ
(のぞみ)望み大きな生徒であれ
(ほこり)誇り高き生徒であれ

【学校の課題】…問うこと！ 考えること！

1 学習指導	2 生徒指導
(1) 基礎学力、読解力不足 授業改善～ひなたの学び	(1) 善惡の判断とレジリエンス 自立・貢献→(自己決定)
(2) 学力差による授業の困難さ 個別最適化(自由進度等)	(2) 生徒のよさを伸長 SWPBS 繼続
(3) 主体的な学習(学習動機) キャリア教育、主体的な学習 環境の整備、充実 ※ICT 教育環境の充実	(3) 学校の当たり前の見直し ルールメイキング、参画意識↑
3 コミュニティスクール……地域ネットワークの構築	

【教育目標】自立・貢献

「自立・貢献」～【幸動】自他の幸せのために学び行動する生徒の育成～

自立・貢献

【めざす生徒像】自立・貢献

- 【ひかり】自分自身の良さに気づき、それをさらに伸ばそうと努力する生徒
【のぞみ】将来の夢や目標を持ち、進んで学ぼうとする生徒
【ほこり】自分自身、学校、地域を愛し、主体的に行動できる生徒

Professional

【めざす教師像】自立・貢献

- ・ 生徒の可能性を見出し、やる気を引き出す教師(生徒を輝かせる存在)
- ・ 学校内外の教育力をコーディネートし、キャリア教育を推進する教師
- ・ 授業や教育活動において説明責任を果たし、生徒の動機付けを行う教師

【自立・貢献を推進する教育活動において重視する観点】

(1)子どもの自己決定を促し、失敗をサポートし、活躍を賞賛する。

- ① 生徒指導における伴走型支援の充実⇒自他のための自己決定を支援
- ② 生徒会の自主的運営
- ③ 自ら決めた決まりを大切にする学校風土の構築

言葉かけ	指導支援の意義
1 どうしたの (何か困ったことはあるの？)	言語化し、内面を意識 メタ認知⇒頭ごなしの指導
2 君はどうしたいの (これからどうしようと考えているの？)	子どもの意思を確認 解決の方法を知るきっかけ
3 何を支援してほしいの (先生に何か支援してほしいことはある?)	問題解決の手助け 先生は味方

被害者意識 業者意識	当事者意識
過去の原因を探る	達成したかった目的を探る
「なんで? どうして?」	「どうしたかったの?」
原因→結果	目的→手段
意思は問われない主体性が薄い	意思が問われる 主体性が問われる

(2) 学力を向上させる。

- ① 主体的な授業の追求(探求【究】的な学習+OUTPUT の比重 UP)
- ② ICT 活用による授業と家庭学習の充実
- ③ データ分析に基づく効果的学習の展開
- ④ はげまし隊を活用した取組の拡充
- ⑤ 全職員による組織的指導の充実
- ⑥ 評価と指導の一体化

(3) 豊かな心を育成する。

- ① 体験活動の工夫と地域人材の活用(キャリア教育の充実)
- ② 人権・同和教育の充実
- ③ いじめの未然防止、絆づくり、解決力の支援
- ④ 時と場に応じた行動基本の徹底
- ⑤ 幼保小中高連携を通じての継続的指導
- ⑥ 読書教育の充実(図書室の稼働率 UP)
- ⑦ 情操環境の充実(人生を豊かにする芸術教科の充実)

(4) 生徒の体力を向上させる。

- ① 体育科での基礎体力作り(運動量の確保)
- ② 部活動の効率的指導・体育的行事の工夫
- ③ 保健教育の充実
- ④ 食育指導の充実

(5) 生徒の困難さを解決する。

- ① 全生徒を対象とした特別支援教育の実施
- ② 継続的組織的支援、計画的指導の工夫(SC 活用)
- ③ スクールワイド PBS の推進

キーワード
10 年後の幸せ

人生100年時代、激動の社会を生き抜くために、主体的に考え続ける生徒を育成する
今後の社会参画に向け、民主主義の礎となる認知・非認知能力の土台を築く学校をめざす

「今と未来の幸せについて考え続ける延中」